

夕刊

いわき民報

郵便番号 970  
いわき市平字田町63-7  
いわき民報社  
〒970-6307  
本社 0246-1666  
名浜支社 0246-3560  
小名支社 0246-2380  
常務支社 0246-2903

婦人服専門  
ファッション  
タカノ  
小名浜名店街  
TEL.54-8255

小川の松松さんにも実行  
交通事故の後片付け  
いわき市小川町四小川字豊山  
四合社員小松松さん(左)に二  
小松松さん(右)と交際中  
代山区・芽誠代形から表態状  
と実行片付けられた  
小松松さんは二月十八日早  
朝、同町下小川の堤道で、自動車  
に乗っていた松松さんが、自動車のガ  
ラス破片などで現場が三十センチにわ  
たつて危険な状態になったため、自  
発的に片付けを行った。

# 中・高校卒業生

## 平職安調べ

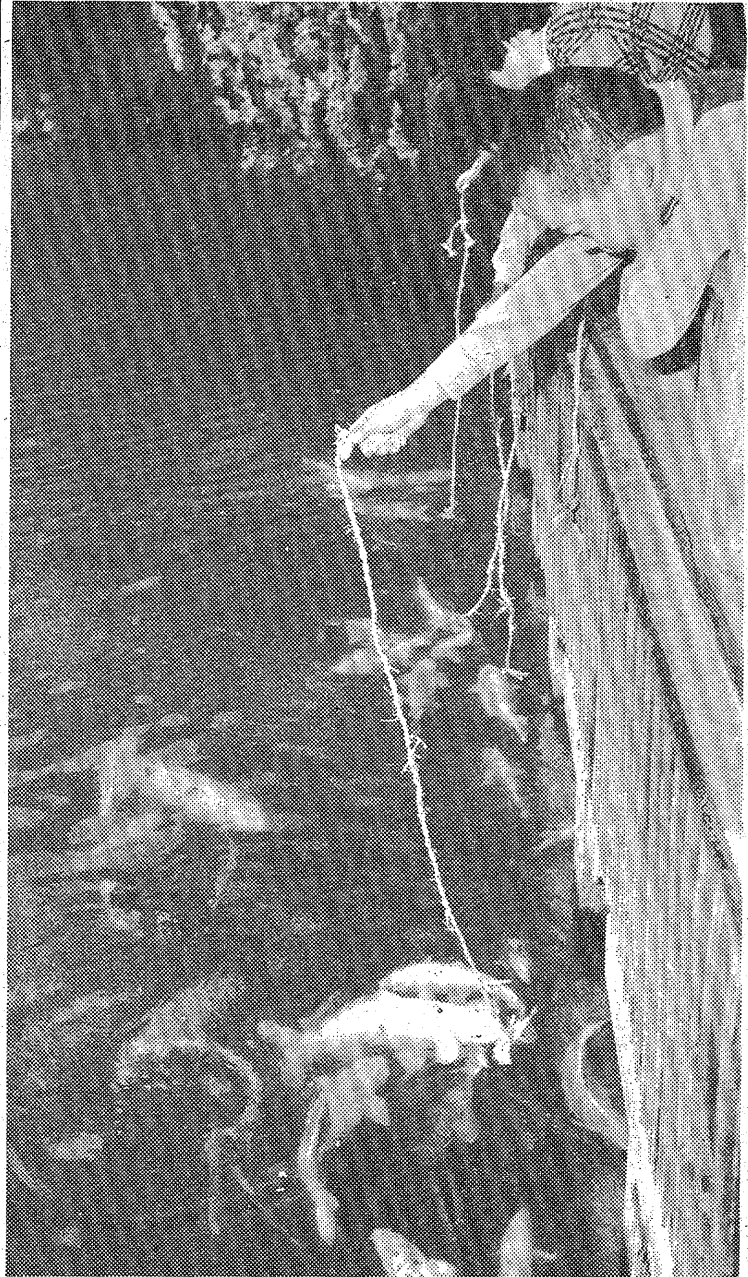
### 就職3年目で半数が転職

### 生きがいを求めて? 自分に合った職場探し

市内の中学、高校卒業生は半数が就職3年目で転職している。平公共職業安定所は、このほど、同安定所管内別の中学、高校卒業生、四十八年度までの就職状況をまとめた。それによると、四十八年度の管内中卒卒業生は四七・八%、高校卒業生は四三・四%が三年目で転職、他企業に転じている。若い世代では仕事に対する「生きがい」を求める傾向が強くなり、自分に合った職場を探して転職したものと同安定所では見ている。

### 48～50年度を対象に

このうち同安定所管内では、中学四百七十九人、高校三千三百三十六人が対象。まず中卒卒業生では、就職二年目で百九十九人、一六・五%に、あたる十八人が転職、二年目では



### 旅情慰む 賢沼のこい

○：ウナギ、コイの生息地  
で有名な沼之内村財天賢沼  
は、周遊指定コースで訪れる  
県内外観光客で大にぎわい。  
○：投げ与える冷凍サメ  
のエサに、先を競って群がり  
豪快にパクつくさまは壮観。

### 新年度目標は3万人

### 日赤社員の加入募る

日本赤十字社(東郷大郎社長)の県支部いわき支会(事務局・市社会福祉課)が、市の社員加入を募っている。同支会のまとめで、今年三月末現在、同社の社員として登録されている市民は、一万五千三百八十七人(世帯・専任活動の母体となる社費(金)千六百六十八万五千四百四十九円)が集まった。このうち、六十五歳以上の独り暮らし老人宅に設けられる「愛のイーターホン」への補助金(二十台分二十万円)や血海老の無料判定(千二百人分四十万円)、災害百円未満の「補助員制度」が廃止されたため、同支会では「これを機会に正社員に切り替えて」と話している。

お茶の友に...  
**茶筒**  
お菓子の専門店  
みよ  
TEL. 23-7111(代)

モーニングサービス  
サンドウィッチ  
野菜サラダ  
純喫茶  
**白十字**  
平字南町平和通り  
TEL. 3131(代)  
白十字白銀店  
平字白銀町 5151

# 日は是好日

## お婆ちゃんは南向きの一番いい部屋ですね。

「いつのまにか建ってしまった」という感じですね。苦勞したところですか? そうですね。南北に細長い土地だったから、30回くらい設計をやり直したことぐらいですかね。後は全部、栄さんにまかせっきりでした。間取りなんか全部思っていた通りにできて、全然悔いはありませんよ。お婆ちゃんには、南向きの一番いい部屋に入ってもらおうつもりです。

三栄では、今年引き渡しの家より保証書をおつけいたしております。なお、保証書の内容として三ヶ月自主点検を義務づけております。



石田成美様(43歳)会社勤め  
奥様はる子さんとお婆さんの3人家族

住宅建築 **三栄** いわき市小名浜南君ヶ塚町17の14  
TEL. 53-5252 (代表)























# 四国遍路の旅

道

昔は一月かからず、家族と本林をわけて出立、大に伝えられる。もちろん今は交通の便も良くなった。バスを利用しても八十八カ所巡り、十五日、六日を要する。また、市街地近郊は門前にバスで行ける。

しかし、全部が金で済ませるのではなく、遍路の道は比較的少なくて、参道(一夜)一五段一札所と最小限度は歩かねばならない。バスの利用出来る所は一部乗用車を用い、悪路で外道程度であれば、徒歩で通る。歩いていながら、途中対向車あればまた容易で、私は徒歩で通った。

こんな悪い道で通るのも、道端には人々(僧侶)みかひ、芋、菓子を、無造作に置かれてあり、だれでも自由買い求めることが出来る。

## 苔むす地蔵に頭垂れ...

### 女人信仰の厚さを知る

たはの由建った寺だけに、川の土道は低いところ、札所がある。たはの、遍路は無間地獄と評する。難なきが、参道の底へ落ちて行く。この寺に、関所寺といふ。

八十八カ所中国分寺が四カ所あり、即ち①②③④であって、足跡に指し示されているのは、その①②③④の四カ所である。

①中国分寺(津和野) 久野

②中国分寺(津和野) 久野

③中国分寺(津和野) 久野

④中国分寺(津和野) 久野

石段

遍路するものにして、坂と石段を避けて通るわけはないが、

若し五分後だったら、参道は、川の上流の低いところ、札所がある。たはの、遍路は無間地獄と評する。難なきが、参道の底へ落ちて行く。この寺に、関所寺といふ。

八十八カ所中国分寺が四カ所あり、即ち①②③④であって、足跡に指し示されているのは、その①②③④の四カ所である。

野道に、たはの、参道は、川の上流の低いところ、札所がある。たはの、遍路は無間地獄と評する。難なきが、参道の底へ落ちて行く。この寺に、関所寺といふ。

野道に、たはの、参道は、川の上流の低いところ、札所がある。たはの、遍路は無間地獄と評する。難なきが、参道の底へ落ちて行く。この寺に、関所寺といふ。

野道に、たはの、参道は、川の上流の低いところ、札所がある。たはの、遍路は無間地獄と評する。難なきが、参道の底へ落ちて行く。この寺に、関所寺といふ。

野道に、たはの、参道は、川の上流の低いところ、札所がある。たはの、遍路は無間地獄と評する。難なきが、参道の底へ落ちて行く。この寺に、関所寺といふ。

野道に、たはの、参道は、川の上流の低いところ、札所がある。たはの、遍路は無間地獄と評する。難なきが、参道の底へ落ちて行く。この寺に、関所寺といふ。

野道に、たはの、参道は、川の上流の低いところ、札所がある。たはの、遍路は無間地獄と評する。難なきが、参道の底へ落ちて行く。この寺に、関所寺といふ。

## 常磐俳句研究会

四月例会

渡辺ふみ夫 選

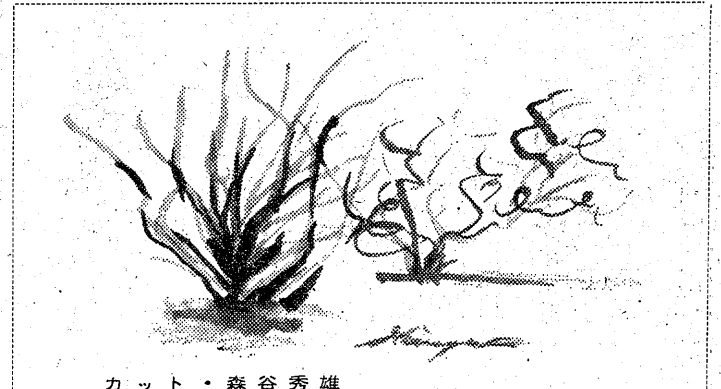
花万葉遠征花のより坂  
野が狭く小き手開の陽を交す  
はと子の笑顔とけ合う新学期  
集立つの月早く梅匂ふ

【題】年々歳々同じからず...学窓を集  
立ち行くのよと歳月の過ぎゆくか。  
世間の風、そしていま冷める梅の咲  
く季節に、教師の身として心おぼ  
も深くなる。

若老に折れぬ水に雨降れり  
梅林の花咲ぬ水に雨降れり  
古草の地肌いとし三時の茶

【題】枯れ葉は古草の地のぬもりが、  
やがて萌える地の息吹を感じ、そこに  
新旧古の情三時の閑と想が茶の味  
を深くする。

運徳に花マニキの紅白立つ  
紫木葉の急げの急げ  
起さるすくすく土壌つむじ  
雪原の湖原湖トトトト  
今日もまた黄砂現る自国に  
初春の朝に吹く風  
老葉の影に延び梅の咲  
風光を新緑に託す  
人の世の栄枯左遷ひしめ  
路地狭く足踏きの足踏きの  
登り我がまなまな旅の宿  
紅梅の地が光る春灯下  
春雨のあめなく降る秋  
全身を少女の春の風  
春風を吹く上り坂  
春風を吹く上り坂



カット・森谷秀雄

風邪癒ゆるしとて水と草吹く  
火の色の灯が懐しや菜種梅雨  
越えて来るのひびきに梅馬車  
閉山の神楽なるむ雛生きて  
春曉の鐘の音のひびき  
病臥の窓のひびき  
九馬のひびき  
席題(黄水仙)

黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音  
黄水仙の花の鐘の音

星 渡辺男  
野口とし秋  
鈴木 知世  
中 原 列郎  
馬 場 秀峰  
堀 時 直  
渡辺ふみ夫

江尻小児科 江尻 次雄  
三井小児科 三井 五郎  
かやば小児科 萱 場 治  
大滝小児科 大滝 達司

鈴木耳鼻咽喉科 鈴木 知水  
長谷川整形外科医院 院長 長谷川 国 男  
山田泌尿器科 山田 均  
遠藤医院 院長 遠藤 英一

木村皮膚科医院  
蓮沼医院 院長 蓮沼清夫  
北山医院 院長 北山和也  
竹林病院 院長 竹林貞吉

江尻小児科 江尻 次雄  
三井小児科 三井 五郎  
かやば小児科 萱 場 治  
大滝小児科 大滝 達司

鈴木耳鼻咽喉科 鈴木 知水  
長谷川整形外科医院 院長 長谷川 国 男  
山田泌尿器科 山田 均  
遠藤医院 院長 遠藤 英一

木村皮膚科医院  
蓮沼医院 院長 蓮沼清夫  
北山医院 院長 北山和也  
竹林病院 院長 竹林貞吉

救急指定病院  
労災保険指定病院  
法人 財団 竹林病院  
所在地 いわき市平字堂根町















